

Chubu Road Maintenance Management Office

国土交通省 中部地方整備局

中部道路 メンテナンスセンター



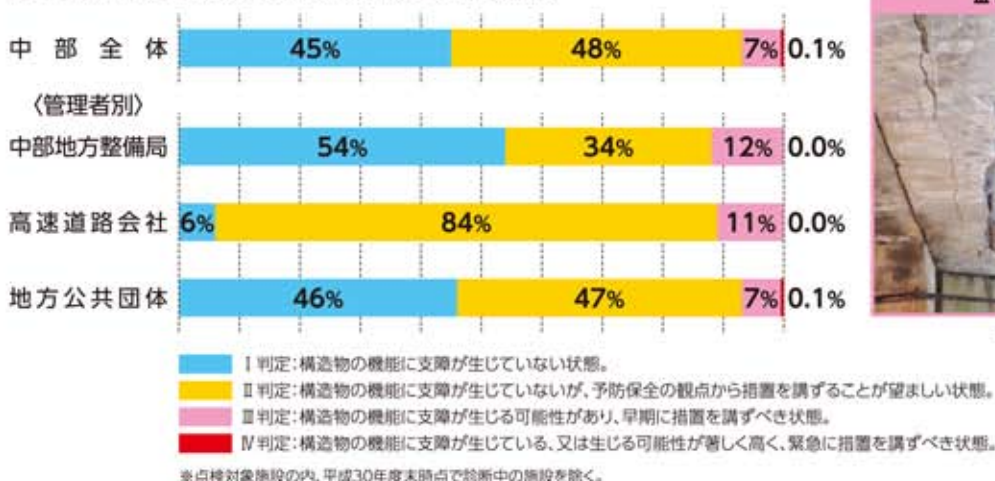
中部道路メンテナンスセンターとは

中部道路メンテナンスセンターは、急速に老朽化する社会資本の対策を強化するため、点検データを生かした、戦略的・効率的なメンテナンスを推進するための組織として、平成31年4月に開設されました。

インフラメンテナンスの課題

平成26年度からの定期点検は平成30年度で1巡し、判定区分の割合は、早期に措置を講ずべき状態(判定区分Ⅲ)が7%、緊急に措置を講ずべき状態(判定区分Ⅳ)が、0.1%となっています。次回点検までに措置を講ずべき橋梁の修繕着手、またライフサイクルコストの縮減に向け、予防保全型(判定区分Ⅱ)の修繕に移行する必要があります。

■ 中部管内(長野県除く)橋梁の1巡目点検結果



Ⅲ判定事例

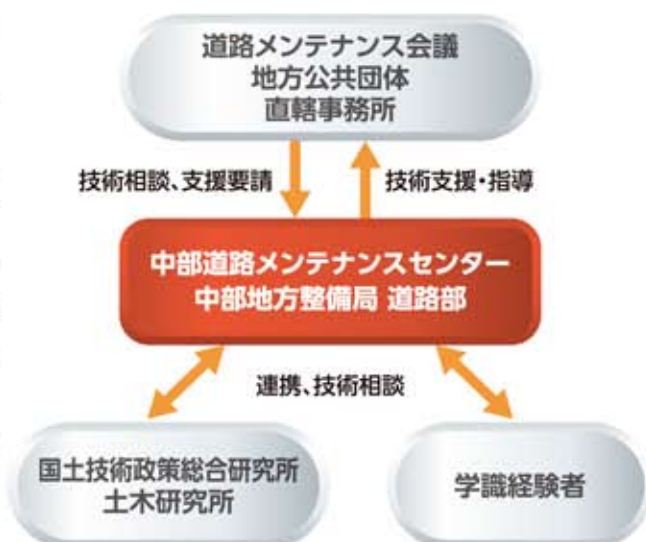


RC床版うき・剥離状況

中部道路メンテナンスセンターの取り組み

老朽化する社会資本の定期点検結果データの分析により、劣化予測や修繕計画の最適化、大規模な修繕になる「事後保全」から、損傷が軽いうちに補修を行う「予防保全」への転換に取り組めます。また、技術者が不足する地方公共団体に対し、道路メンテナンス会議への支援、道路構造保全に関する技術相談、研修会の開催など点検・診断の技術習得や技術力向上のための支援を行います。

さらに、緊急で高度な技術力が必要な施設については、技術的な助言を行う直轄診断を実施しています。



研修・診断・修繕の支援

地方公共団体に対し、道路構造物の定期点検に関して最低限必要な知識と技能が習得できるよう研修会を開催します。

また、地方公共団体の要請により、直轄診断を行います。



直轄診断着手状況



講義状況



橋梁点検実習状況



トンネル点検実習状況



鋼橋点検状況



Co橋点検状況

[実例] 古川橋の直轄診断

静岡県吉田町が管理する古川橋は、全長54.5mで1969年に完成し50年経過しています。古川橋は塩害による腐食や支承の損傷が確認され、補修工法の検討に高度な技術が必要とされることから、技術集団による直轄診断を実施しました。



点検状況



鋼材の腐食



支承の損傷

平成28年度 吉田町橋梁点検結果 健全度：Ⅲ判定

02

データの収集・分析

橋梁やトンネルなどの施設を対象とした定期点検結果の管理や分析による劣化予測や修繕計画の最適化の検討をします。



定期的に点検し、損傷状況を把握。



定期点検結果に基づき、知識と技能を有するものが損傷原因に関する所見をまとめ、健全性を診断。



各種点検結果や補修等の履歴を記録保存。



補修等の計画に基づき、効率的に補修等を行う。



03

会議・セミナーの開催支援

道路メンテナンス会議の参画や道路施設での点検や補修技術の習得を目的としたセミナーの開催を支援します。



溝橋定期点検・点検支援技術講習会の開催状況



道路メンテナンス会議の開催状況

04

人材(技術者)の育成

メンテナンスセンター内の施設を活用して技術講習の実施による技術者を育成します。



技術講習全景



鉄筋探査講習



磁粉探傷試験講習



圧縮強度試験講習

05

情報発信

構造物の老朽化状況やメンテナンスの重要性を広くみなさんに知っていただくため、道路メンテナンス会議と協働し、市役所ロビー、道の駅、商業施設等でパネル展を開催しています。



道の駅での広報状況



商業施設での広報状況



市役所での広報状況



役場での広報状況

組織体制



交通のご案内



●地下鉄……………名城線「ナゴヤドーム前矢田駅」下車 1番出口 徒歩1分

●ゆとりーとライン……………「ナゴヤドーム前矢田駅」下車 徒歩1分



国土交通省 中部地方整備局

中部道路メンテナンスセンター

〒461-0047 名古屋市東区大幸南一丁目1番15号 (中部技術事務所庁舎内1階)

TEL (052) 722-7108 (代表) FAX (052) 722-7109 (代表)

**技術相談
窓口**

道路メンテナンスに関する技術相談を受け付けています。

下記窓口までお問い合わせ下さい。

TEL: (052) 722-7108 Email: cbr-chumc-kyoyo02@mlit.go.jp